

【資料 2】

刈谷市スマートシティ推進協議会 令和 7 年度課題解決型実証プロジェクト の選定結果について



KARIYA
SMART CITY

令和 7 年 5 月 2 7 日

- 1 課題解決型実証プロジェクトの選定結果
 - (1) 実証プロジェクトを募集した課題
 - (2) 応募された企画提案一覧
 - (3) 審査過程、今後の予定
 - (4) 選定結果
 - (5) 今後の予定



➤ 1 課題解決型実証プロジェクトの選定結果



(1) 実証プロジェクトを募集した課題

□ 4 課題に対する実証プロジェクトを市のHPで募集

課 題 名	担当課	概 要
働く世代の睡眠習慣の改善	健康推進課	市民対象のアンケート調査では、 働く世代の多くが睡眠不足 である。本市では、働く世代へのアプローチとして 健康経営を推進 しているが、 睡眠をテーマとする取組は、食生活・運動と比べて実績がない 。 従業員の睡眠状況の把握と分析から、事業所への労働環境改善のアドバイス まで実施することで、心身ともに健康な市民の増加と、健康づくりに取り組む優良事業所の認定件数の増加につなげたい。
デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり	子育て推進課	こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり が全国的に推進されているなかで、市内高校生対象のアンケートで「 困ったときに相談したり悩みを話せる人がいない 」との回答が2割程度ある。匿名性の高さがもたらす気軽さや安心感を活用し、市内の小中高校生が、 匿名で気軽に交流できる新たな場 をつくり、 誰にも相談できない・悩みを話せない子どもの減少や不安や悩みを抱える子どもの減少 につなげたい。
誰もが足を止めたくなる駅前空間の創出	まちづくり推進課	平日約7万人が通勤・通学を中心に利用し、令和8年度にはアジア・アジアパラ競技大会で観戦客の往来が見込まれる 刈谷駅 において、現在イベントや情報発信など、様々な取組を行っているが、 人々が足を止めたくなるような効果的な発信 はできていない。目を引くビジョン、音響コンテンツ、空間演出など 効果的なサービス提供により、市民サービス向上とにぎわいの創出 を図りたい。
デジタルが導くホームタウンパートナーの認知度向上	スポーツ課	8種目11チームがホームタウンパートナーとして、ホームゲームの観戦招待、小中学生向けスポーツ教室「刈谷キラキラ教室」の開催 など取り組んでいるが、子ども世代の ホームタウンパートナーの認知度が低い ほか、部活動廃止等により スポーツをする機会の減少 が危惧されている。チームの認知度を高め、接点や観戦のきっかけを増やすことで「 みるスポーツ 」、継続的に「 するスポーツ 」の 機会増加 につなげたい。

(2) 応募された企画提案一覧 その1

課 題 名	No	提 案 名	提 案 概 要
【健康推進課】 働く世代の睡眠習慣 の改善	1	刈谷スマートウェルネス：AIによる体質可視化と個別最適化で実現する質の高い睡眠～AIパーソナルドクター：最小10問で導く、あなただけの健康改善ソリューション～	・千葉大学の臨床ビッグデータを使ったAI問診サービス（10問～20問） ・AI分析結果より、個別に生活習慣改善の提案、漢方薬の提案 ・生活改善等の前後に、睡眠計測を行い、その睡眠改善の効果を検証
	2	スマートスリープ2025～働き世代の睡眠改革へ向けた第一歩～	・LINEの自動集計・分析ツール「Lステップ」にて、個人に沿った睡眠アンケートの実施 ・回答状況に応じてパーソナライズ化されたメッセージ配信やセグメント配信が可能 ・産業医による個人向け&企業向け睡眠改善策の提案、その効果検証
【子育て推進課】 デジタルがつなぐ子ども の居場所づくり		提案なし	
【まちづくり推進課】 誰もが足を止めたくなる 駅前空間の創出	3	笑顔が寄付に変わる！共感型 まちづくり広告プロジェクト	・スマイラル実証端末は、映像デバイス（スマホ等）に笑顔認証機能を搭載したもの ・通行者の笑顔を検出すると同時にユニークな演出と広告を表示するコンテンツ ・刈谷駅サイネージにて、笑顔1回1円の寄付が発生する仕組みで盛り上げる取組

(2) 応募された企画提案一覧 その2

課 題 名	No	提 案 名	提 案 概 要
【スポーツ課】 デジタルが導く ホームタウン パートナーの 認知度向上	4	AIカメラ等を活用したスポーツDX によるホームタウンスポーツと連携し た刈谷市スポーツ活性化実証プロ ジェクト	・刈谷球場、グリーングラウンド刈谷にAIカメラを設置し、リアルタイム映像配信（学生・アマチュア大会の配信が可能。プロの映像は制限あり。） ・プロチームが使う分析ツール「vidswap」を活用し、子どもたちの指導・育成 ・ホームタウンパートナーチームの試合配信、プロ選手の指導育成を行い、認知度アップ
	5	スマートスポーツパーク - ICTツ ールを活用してスポーツDXがもたら す、誰もが楽しむ新体験。	・ホームタウンパートナーチームの選手紹介や試合を「AIスマートコーチ」にて配信 ・自分の骨格や動きの分析結果を確認でき、プロ選手のお手本との比較も可 ・プロ選手が直接指導し、引き続き個別に遠隔指導を継続、集大成の試合を開催 ・チームの試合への招待、交流の機会を創出し、ファン化を狙う
	6	デジタルローカルコミュニティマップ (スポちず)を活用した、スポーツ チーム×地域企業との相互集客に よる ①スポーツチームの認知度 向上・来場促進 ②地域企業へ の回遊促進・地域活性化の実現	・LINEとマップを活用した地域回遊促進型プラットフォーム「スポちず」 ・トヨタ車体の2チームの応援企業・店舗を募集し、スポちずと実店舗などでPR連携 ・試合観戦にあわせ、コラボ企画やスタンプラリーなど店舗回遊の促進、地域活性化
	7	刈谷市スポーツコミュニティの形成 によるホームタウンパートナーの情 報集約と、刈谷キラキラ教室のデ ジタル化	・刈谷市とホームタウンパートナーのコミュニティページ（SpoLive）を作成 ・ホームタウンパートナーの情報集約と、市民のワンストップ情報収集を実現 ・プロ選手とファンのオンラインセッション、番組配信、キラキラ教室ライブ配信も可 ・フォローするとデジタルコレクションとして「選手カード」プレゼント

➡ 提示した4課題に対し、応募された提案は **7**

(3) 審査過程

□ 担当課と事務局の審査員により、一次・二次審査を実施

内 容	日 程
(1) 企画提案書提出締切日	令和7年4月25日（金）
(2) 一次審査（書類選考）	令和7年5月2日（木）
(3) 二次審査（面談）	令和7年5月13日（火）
(4) プロジェクトの選定	現在

可能な限り面談審査を行うものとして、
7つの提案全て二次審査を実施



(4) 選定結果

□ 二次審査（面談）の結果、評価の高かった **3 提案を選定**

課 題 名	No	提 案 名	提 案 者
【健康推進課】 働く世代の睡眠習慣の改善	2	スマートスリープ2025～働き世代の睡眠改革へ向けた 第一歩～	MIRAERA株式会社
【まちづくり推進課】 誰もが足を止めたくなる駅前空間 の創出	3	笑顔が寄付に変わる！共感型まちづくり広告プロジェクト	一般社団法人One Smile Foundation
【スポーツ課】 デジタルが導くホームタウンパート ナーの認知度向上	7	刈谷市スポーツコミュニティの形成によるホームタウンパート ナーの情報集約と、刈谷キラキラ教室のデジタル化	SpoLive Interactive株式会社

□ 今後、プロジェクトの実施に向けて、市と提案者で各種調整を行い、実証を実施する

⇒ 次回の協議会（令和8年3月24日）にて成果報告を予定



(5) 今後の予定

内 容	日 程
(5) 選定結果を市HPで公開、プレスリリース	令和7年5月下旬
(6) 正式契約	令和7年6月下旬
(7) 実証実施	令和7年7月～令和8年2月上旬
(8) 完了報告（書類提出）	令和8年2月下旬



□ 選定した次の2プロジェクトは、実証を行う上で必要な調整事項に課題があり、契約時期や実証期間が予定どおりに進まない、又は実証を中止する場合があります。

- まちづくり推進課 使用するサイネージの選定に関する調整 他
- スポーツ課 ホームタウンパートナーの情報集約に関する全チームの理解 他

